

地元を離れ、新しい土地で就職し働いていけるか不安だった

暖かい雰囲気の中で安心して働くことができています

5階1病棟
障害者施設等一般病棟
米田 遥香さん

Q.入職した時の気持ちと現在の気持ち

A.4月に札幌にきた時は新しい土地で友達もいなく、相談する相手ができるのか、本当にやっていけるのかと不安でした。先輩達が、声をかけてくれ、温かい雰囲気の中で今は安心して働けています。親元を離れて自活したいという気持ちで地元から離れたが、やっぱり帰りたくなることもあります。そんな時は家族に電話をして紛らわしています。家族の有難みを実感しています。

Q.今行っているケアや業務

A.経管栄養を実施しています。基礎研修で勉強した胃瘻チューブが抜けないように考えてケアしたり、内服薬の注入では患者間違いが起きないように確認しています。他には、褥瘡のケアを行っています。今は、フォローを受けながら、部屋持ち患者4名を担当しています。患者さんが普段と違う時には、眠れているか、ご飯は食べれているか等確認するようにしています。

Q.仕事をしていて嬉しかったこと

A.患者さんに「いつもありがとう」「あなたが来てくれて良かった」と言われたことです。患者さんと廊下ですれ違った時に笑顔で手を振ってくれたりすることが嬉しかったです。

Q.どのような関りがそうさせたと思いますか

A. ナースコールを繰り返し押す患者さんに対して、優しい声掛けと対応を心掛けているからかなと思います。



Q.仕事をしていて難しく感じる

A.日によって認知症の患者さんの様子が違って、ケアや処置を受け入れてもらえないことがあり、戸惑うことがありました。先輩に聞いたり、先輩の関りを見て学ぶようにしました。患者さんは、おむつが汚れた時に落ち着きがなくなることを知り、患者さんの行動に意味があることを知ることができました。



Q.今の目標

A.業務を一つ一つ丁寧に行っていくことと、患者さんの思いや訴えに耳を傾けて業務しながら関わることです。基礎研修で立てた1年後の目標は、「患者さんがその人らしく生活できるように支援できる看護師になる」です。

Q.研修で活用できたこと

A.学生時代、コロナ禍で病院実習ができなかったのが、実際に臨床で看護技術ができるか不安でした。2か月間の基礎研修で、アドバイスや指導をもらいながら、体位変換やおむつ交換など基礎からしっかり実施することができ、病棟へ配属後も活用して、患者さんに関わることができています。

Q.学習方法

A.実践したことや、次に担当する患者さんの病態や薬について学習をしています。心電図は初めは分からなくて、先輩に直接聞いたり、参考書を教えてもらって学習しました。家に帰ってから勉強する時もありますが、先輩が声を掛けてくれ業務時間内に行っています。

Q私の国家試験対策と就活

A.予備校の模試や国家試験対策の動画配信を受けていました。他には友人と通話し声掛けしながら勉強していました。就活は、地元を含めて6か所の病院を受けました。急性期か慢性期か迷い、輩から聞いたり、自分に合うのか考えたりして見学会に参加しました。実際に見て病院の雰囲気や環境を知ることができたので良かったです。

